

第170回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成22年5月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,744	0.01	0.02	4,070	1.16	0.12
東部地区	14,348	-0.37	0.20	5,680	0.15	0.33
西部地区	10,724	-0.89	-0.01	4,020	-0.17	0.00
駅南地区	6,317	-1.29	0.15	2,689	0.03	-0.07
半田地区	3,625	0.02	-0.05	1,370	0.88	0.00
横山地区	5,657	-0.33	-0.07	1,876	1.02	0.16
茨目・田尻地区	6,987	0.57	0.04	2,352	1.33	0.08
荒浜地区	5,090	-0.85	0.03	2,007	0.19	0.14
その他地区	20,792	-1.81	-0.12	7,178	-0.19	0.06
西山町地区	6,314	-0.18	-0.07	2,128	-0.42	-0.18
高柳町地区	1,941	-1.67	-0.10	849	1.19	0.35
柏崎市計	91,539	-0.74	0.00	34,219	0.30	0.09
刈羽村	4,898	-1.01	-0.02	1,562	0.90	0.00
小国地区（長岡市）	6,336	-2.40	-0.33	2,136	-0.92	-0.09
出雲崎町	5,151	-2.10	-0.17	1,810	-0.38	-0.11
合計	107,924	-0.91	-0.02	39,727	0.22	0.07

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で685人、0.74％、刈羽村で50人、1.01％、小国地区（長岡市）で156人、2.40％、出雲崎町で111人、2.10％とそれぞれ減少し、全体では1,002人、0.91％の減少となった。また、前月比においては、柏崎市で6人、0.00％の微増となったが、刈羽村で1人、0.02％、小国地区で21人、0.33％、出雲崎町で9人、0.17％と減少したことから、全体では25人、0.02％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で20世帯、0.92％、出雲崎町で7世帯、0.38％と減少したが、柏崎市で103世帯、0.30％、刈羽村で14世帯、0.90％と増加し、全体では90世帯、0.22％の増加となった。また、前月比においても、小国地区で2世帯、0.09％、出雲崎町で2世帯、0.11％と減少したが、柏崎市で34世帯、0.09％と増加した結果、全体では30世帯、0.07％と増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	915		51.49		-6.91	
月間有効求職者	2,545		36.97		-5.88	
月間有効求人倍率	0.36	0.52	0.03*	0.20*	0.00*	0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

労働需給状況については、平成22年1月分までは「パートを除く常用」の計数を記載していましたが、平成22年2月分からは「パートを含む全数」の計数を記載していますので留意願います。なお、前年同月比では、平成23年1月分まで「パートを除く常用」との比較になっています。

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が915人と前年同月比で311人、51.49％の増加となったが、前月比では68人、6.91％と減少している。

一方、月間有効求職者数も2,545人と前年同月比で687人、36.97％の増加、前月比では159人、5.88％と減少した。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.36倍となり、県平均0.52倍と比べて0.16ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が414人と前年同月比で15人、3.76％の増加、月間新規求職者数は569人と前年同月比で0人、0.00％の同数となった結果、月間新規求人倍率は0.73倍となり、前年同月の0.70倍に比べて0.03ポイント改善している。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成22年5月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	23	-21	-14	60	-45
共 同 住 宅	0	-3	-1	1	-2
事 務 所	0	-2	-2	2	-1
作 業 所・工 場	2	2	1	3	2
営 業 建 物	0	-3	-1	1	-6
公 共 建 物	0	0	0	0	0
そ の 他	12	-4	-2	26	1
合 計	37	-31	-19	93	-51

（資料出所： 柏崎市建築住宅課）

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が37件と前年同月比で31件の大幅な減少となり、前月比でも19件と大幅に減少している。工種別における主な増減は、一般住宅（併用）が前年同月比で21件の減少、前月比でも14件減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が24件、増築が9件、改築が4件となった。また、一般住宅（併用）23件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が16件（うち新築7件、増築7件、改築2件）、市外施工業者が7件（うち新築6件、改築1件）となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	64,883	-0.54	-0.02	20,315	11.11	-15.70
電 力	10,967	-3.10	0.07	35,983	10.57	-7.68

（資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所）

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で355口、0.54%の減少、前月比でも15口、0.02%と減少している。一方、電力においては、前年同月比で352口、3.10%の減少となったものの、前月比では8口、0.07%の増加となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で2,032kwh、11.11%の増加となったが、前月比では3,785kwh、15.70%と大幅に減少している。一方、電力においても前年同月比で3,440kwh、10.57%と増加したが、前月比では2,997kwh、7.68%の減少となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,415,298	7.05	-16.84	697,276	-2.62	1.10
営 業 用	201,636	7.01	-23.81	117,065	-0.42	-3.53
工 場 用	595,333	30.35	-9.58	109,582	-6.79	-7.94
官 公 学 校 用	282,234	19.52	-40.23	76,014	0.12	8.07
そ の 他				173	343.58	28.14
合 計	2,494,501	13.21	-19.46	1,000,110	-2.63	-0.04

（資料出所： 柏崎市ガス水道局）

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で291,199m³、13.21%の増加となったものの、前月比では602,816m³、19.46%と大幅に減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではすべての用途で増加、前月比ではすべての用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で27,063m³、2.63%の減少、前月比でも416m³、0.04%と僅かに減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用、営業用、工場用で減少、前月比では営業用、工業用で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	91,706	3.53	7.91	96,089	2.37	8.16
西 山	44,086	-9.67	9.26	40,335	-9.09	12.51
米 山	22,628	-10.35	17.38	20,909	-11.10	18.04
合 計	158,420	-2.58	9.55	157,333	-2.73	10.48

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で4,208台、2.58%の減少となったものの、前月比では13,814台、9.55%と増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で4,425台、2.73%の減少となったが、前月比では14,931台10.48%と大幅に増加している。

インター別で見ると、前年同月比では西山・米山インターで入口・出口ともに大幅な減少、前月比ではすべてのインターの入口・出口で大幅に増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	365,932	0.52	1.02	146,883	0.60	1.57
平 残	363,838	1.13	-0.54	144,759	-0.17	-2.65

預金は、末残が前年同月比で1,920百万円、0.52%の増加、前月比でも3,699百万円、1.02%と増加している。平残は、前年同月比で4,095百万円、1.13%の増加となったものの、前月比では1,994百万円、0.54%と減少している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で890百万円、0.60%の増加、前月比でも2,272百万円、1.57%と増加している。また、平残においては、前年同月比で261百万円、0.17%の減少、前月比でも3,950百万円、2.65%の減少となっている。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	29,637	4.40	-3.72
交 換 金 額	19,950	13.17	-8.63
不 渡 り 手 形 枚 数	106	2,020.00	-30.26
不 渡 り 手 形 金 額	69	2,650.27	-61.70

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で1,250枚、4.40%の増加となったものの、前月比では1,146枚、3.72%と減少している。また、交換金額においても前年同月比で2,322百万円、13.17%の増加、前月比では1,885百万円、8.63%の減少となっている。なお、不渡手形は106枚、69百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産5件（前年同月9件、前月3件）、負債総額5億円（同18億円、同18億円）となっている。地区別では、下越地区で4件（新潟市3件、東蒲原郡1件）、上越地区で1件（上越市1件）、中越地区では発生していない。業種別は、建設業3件、製造業2件となっており、倒産原因については、販売不振4件、経営計画失敗1件となっている。

当月の企業倒産は5件、負債総額で5億円と、前年同月比では件数は4件減少、負債総額では13億円の減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。企業における企業収益は持ち直し傾向にあり、景況感は緩やかに改善している。個人消費は、弱い動きが続いているものの、一部に明るさがみられる。

全国的には、景気の持ち直し感が高まっているものの、県内企業においてはそこまでの実感に至っていない企業も多いことから、今後も中小企業を中心とした企業動向には、引き続き注意を払っていく必要がある。